

10月17日(土)開催 近江歴史探訪 琵琶湖と共に生きる 沖島を訪ねて

琵琶湖最大の島である沖島は、淡水湖上の島としては、日本国内では唯一、人が定住することで知られています。ここで暮らす人のほとんどが漁業で生計を立てており、得られた魚は食用鮮魚や養殖用魚として出荷されています。また、島の中では湖魚料理として調理され、伝統的な湖国の食文化が今なお引き継がれています。琵琶湖と深くかかわる島の生活様式すべてが重要な文化遺産と言え、日本遺産「琵琶湖とその水辺景観－祈りと暮らしの水遺産」の構成文化財のひとつになっています。

今回の探訪は、休暇村 近江八幡の沖島プログラムを利用し、近江八幡観光ボランティアガイド協会のガイドの案内で、琵琶湖と共に生きる島・沖島を詳しく訪ねます。

★開催要項

◇日時：平成27年10月17日(土) A班：10時00分～14時30分頃
B班：10時40分～15時10分頃

◇距離：約3km(歩程のみ)

◇持物：健康保険証(コピー推奨)、まち歩きができる服装と靴等

◇集合：JR近江八幡駅北口

A班：10時00分

B班：10時40分

◇行程：≪集合≫JR近江八幡駅北口 → (バス) → 長命寺港 → (船) → 沖島(探訪) →
→ (船・伊崎寺遠望) → 休暇村(昼食) → 八幡公園 → 八幡堀 → 白雲館≪解散≫
※_____は休暇村 近江八幡のプログラム

◇定員：60名(30名×2班) ※先着順・定員になり次第受付終了

◇費用：3,240円※休暇村近江八幡のプログラム利用料(ガイド料・乗船料・昼食代・バス代)
昼食時に休暇村 近江八幡に直接お支払いください。

◇申し込み方法：平成27年10月15日(木)17時までに参加を申し込んでください。

【必要事項】①氏名(ふりがな) ②電話番号(携帯電話推奨)

③住所のある市町村名 ④参加する班(A班かB班か)

※電子メールでのお申し込みを推奨します。

◇その他：①悪天候により中止する場合は、平成27年10月2日(金)17時までに参加申込者あて連絡します。

②当日の気象条件等により、コース・時間等を変更する場合があります。

③出発場所と解散場所が異なりますので、ご注意ください。

★ お問い合わせ・お申し込み

滋賀県教育委員会事務局文化財保護課 記念物係

〒520-8577 滋賀県大津市京町四丁目1番1号

TEL：077-528-4674 FAX：077-528-4956

E-mail：outan@pref.shiga.lg.jp

10月17日(土) 近江歴史探訪 琵琶湖と共に生きる 沖島を訪ねて



<スタート> JR近江八幡駅北口 →(バス)→ ①長命寺港 →(船)→ ②沖島(探訪)→

→(船・伊崎寺遠望)→ ③休暇村(昼食)→ ④八幡公園 → ⑤八幡堀 → ⑥白雲館<ゴール>

滋賀県教育委員会・近江八幡観光ボランティアガイド協会

協力:休暇村 近江八幡 後援:公益社団法人びわこビジターズビューロー